

愛知県環境情報紙



# 環境かわら版

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>

令和2年9月号（第292号）



昨年度の様子（ミニビオトープづくり）  
「アクション油ヶ淵 2020」を開催します（P3）



島を美しくつくる会（アマモ場から株を採取して移植）  
生物多様性ベストプラクティス受賞事例を紹介します（1）  
（P8）



「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」第6期の活動がスタートしました（P5）



エコアクションを  
はじめよう！つづけよう！つなげよう！

<http://aichi-eco.com>



## フロン類の大気中への放出を防ぎ オゾン層の保護・地球温暖化防止に努めましょう！

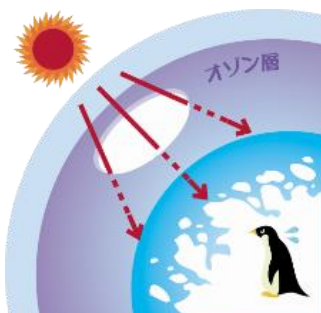


### オゾン層とは

地上 10～50km 上空のオゾンが多く存在する大気の層をオゾン層といいます。

太陽光には、生物にとって有害な「紫外線」が含まれており、オゾン層がこの紫外線を吸収することによって、地上を生物が棲むことができる環境にしています。

オゾン層が破壊されると、皮膚ガンや白内障が増加したり、免疫力が低下するなど、生物に悪い影響を与えます。



### フロン類とは

フロン類（CFC、HCFC、HFC）は、人体に毒性がない、燃えにくい、化学的にも安定している、取扱いが容易など多くの利点があるため、エアコンや冷凍・冷蔵庫の冷媒、半導体の洗浄剤や断熱材の発泡剤など様々な用途に使われています。しかし、フロン類の中には、大気中に放出されると、オゾン層まで到達してオゾン層を破壊するものや、二酸化炭素の数百倍から数万倍の温室効果により、地球温暖化に大きな影響を与えるものがあります。

日本をはじめ、世界中でオゾン層を破壊せず、温室効果の小さいノンフロン冷媒への転換を進めていますが、今までに生産され、使用されているフロン類が現在もたくさん存在しています。

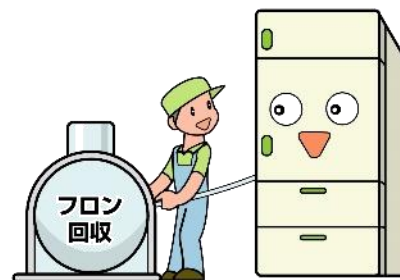
### オゾン層を保護するために

1987年9月16日に「オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書」が採択され、フロン類の生産量・消費量の規制が段階的に行われるようになりました。改めてオゾン層保護の重要性を認識するとともに、地球温暖化防止のためにも、次の取組を進めましょう。

### ★フロン類の回収を依頼しましょう

冷蔵庫やエアコンを廃棄するときには、フロン類が大気中に放出されないよう、適切に回収・処理しなければなりません。

家庭用のエアコン・冷蔵庫を廃棄する際は家電小売店に、業務用のエアコン・冷凍空調機器を廃棄する際はフロン類充填回収業者にフロン類の回収を依頼し適切に廃棄してください。



### ★点検、修理に努めましょう

使用中の冷蔵庫やエアコンから異音がある、冷えなくなったなど、普段と異なる症状がみられる場合にはフロン類が漏れているおそれがありますので、早めに専門業者に点検、修理を依頼してください。

なお、フロン排出抑制法では、業務用の冷凍空調機器については、3か月に1回の「簡易点検」が、一定規模以上の冷凍空調機器については、その規模により1年又は3年に1回以上の専門業者による「定期点検」が義務付けられています。

また、機器の「点検記録簿」は機器廃棄後3年間保存しておく必要があります。

### ★ノンフロン製品を選びましょう

製品購入時には、フロン類を使っていない製品を選ぶようにしましょう。



水大気環境課 大気規制グループ  
電話 052-954-6216 (ダイヤルイン)



## 「アクション油ヶ淵2020」を開催します



油ヶ淵は、愛知県内唯一の天然湖沼です。この油ヶ淵への関心を深め、水質浄化に向けた気運を盛り上げるため、油ヶ淵水質浄化促進協議会\*の主催で、「アクション油ヶ淵2020」を開催します。

参加は無料です。多くの方のご参加をお待ちしています。

1 日時 10月4日(日) 10:00~15:00(荒天中止)

2 場所 油ヶ淵水辺公園 自然ふれあい生態園  
(安城市東端町丸ノ内)

### 3 内容

#### (1) 体験型講座(事前申込制)

「生きものミニビオトープづくり」 **ミニビオトープ**

時間 ①10:00~12:00 ②13:00~15:00

対象 小中学生及びその保護者  
(小学生は保護者同伴)

定員 各回20名程度(保護者を含む。)



#### (2) 各種イベントブース

ア 生きものブース

「生きものタッチプール」

「見て、触って、油ヶ淵のカメたちを学ぼう！」

イ 工作ブース

「ペーパークラフト作り」「木の実クラフト」

ウ 学習ブース

「水質調査体験」「水質浄化実験」

詳細及び事前申込は Web ページをご覧ください。

(<https://www.aburagafuchi.jp/>)

新型コロナウイルス感染症の影響等により、変更又は中止する場合があります。



\*油ヶ淵の水質浄化を目的として1993年設置。愛知県と油ヶ淵周辺4市(碧南市、安城市、西尾市及び高浜市)で構成。

水大気環境課生活環境地盤対策室  
三河湾環境再生グループ

電話 052-954-6220 (ダイヤルイン)



## 「2021 愛知環境賞」へのエントリーを募集しています



愛知県では、2005年の愛知万博を契機に、資源循環や環境負荷低減に関する優れた取組を「愛知環境賞」として表彰しています。

今年度も、選考対象となる取組を募集していますので、是非ご応募ください。

### 1 賞の種類

金賞、銀賞、銅賞、中日新聞社賞、名古屋市長賞、優秀賞

### 2 募集対象者

企業、団体又はグループ(個人の応募は不可)

### 3 募集対象事例

省資源、省エネルギー、新エネルギー、3Rなどの資源循環や環境負荷低減に関する先駆的で効果的な県内の<技術・事業>及び<活動・教育>の事例

### 4 募集期間

9月1日(火)から10月30日(金)まで 必着

### 5 応募方法

応募用紙に必要事項を記載の上、10部(正本1部、副本9部)を持参又は郵送で提出してください。

なお、全てのデータを格納したCD-R等の電子媒体も併せて1部提出してください(Eメール不可)。

応募用紙は Web ページからダウンロードできます。

### 6 提出先

愛知県環境局 資源循環推進課 循環グループ  
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

### 7 選考結果の公表

2021年1月下旬予定

詳細は Web ページをご覧ください。

(<http://aichikankyoushou.jp/>)



資源循環推進課 循環グループ

電話 052-954-6233 (ダイヤルイン)

愛知県では、県民の皆さんに楽しく環境について学んでいただくため、県内の環境学習施設や市町村で構成する愛知県環境学習施設等連絡協議会（略称：AEL ネット）に加盟する施設等と連携して、「AEL ネット環境学習スタンプラリー」を実施しています。

スタンプラリー参加施設等への来館、講座・イベントへの参加により、スタンプを3個以上集めてご応募いただくと、抽選で図書カードなどの記念品をプレゼントします。今年度は、従来の「紙版スタンプ帳」に加えて、スマートフォン等を使用してQRコードを読み取り、スタンプを集める「電子スタンプ帳」もご用意しました。

この機会に、是非多くの施設等にご来場いただき、自然、エネルギー、ごみ、水環境など様々な環境分野について楽しく学んでください。

#### 1 開催期間

9月1日（火）から2021年2月28日（日）まで

#### 2 場所

AEL ネットに加盟する166施設等

※環境をテーマとした講座・イベントのほか、楽しい工作などを実施する施設もあります。

※一部の施設、講座・イベントは、有料又は要事前予約となっています。

※実施施設数は、増減する可能性があります。

#### 3 記念品

##### ・A賞～C賞：図書カード

A賞：5,000円分【スタンプ9個】…抽選で5名

B賞：3,000円分【スタンプ6個】…抽選で20名

C賞：1,000円分【スタンプ3個】…抽選で100名

・Wチャンス賞：A賞～C賞（図書カード）までの抽選に外れた方の中から、抽選で500名にスタンプラリー参加施設等のオリジナルグッズセットをプレゼントします。

#### 4 応募方法等

##### (1) 応募方法

###### ・電子スタンプ帳

①AEL ネット環境学習スタンプラリーのWeb ページにアクセスしてアカウントを登録し、ログインする。

②施設等にあるQRコードをスマートフォン等で読み取り、スタンプを集める。

③Web ページの応募フォームから応募する。

###### ・紙版スタンプ帳

①スタンプラリー参加施設等で入手できるスタンプ帳などに付いている応募ハガキにスタンプを集める。

②応募ハガキに切手を貼り郵送する。

※電子と紙版のスタンプの合算はできません。それぞれで集めてご応募ください（複数応募可）。

##### (2) 応募期限

2021年3月8日（月）まで

※紙版スタンプ帳の場合は、当日消印有効

##### (3) 当選発表

厳正なる抽選の上、記念品の発送をもって発表に代えさせていただきます。

詳細はWeb ページをご覧ください。

(<https://ael-stamp.jp>)



スタンプラリー対象講座の様子

環境活動推進課 環境学習グループ  
電話 052-954-6208（ダイヤルイン）



## 「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」

### 第6期の活動がスタートしました



持続可能な未来のあいちの担い手となる大学生が  
研究員となり、パートナー企業から提示された環境  
課題に対して、解決策を提案する「かがやけ☆あい  
ちサスティナ研究所」の活動がスタートしました。

愛知県庁本庁舎の正庁で開かれた8月2日（日）  
の開所式には、研究所の所長である大村知事、公募  
により選ばれた第6期生の研究員39名、パートナー  
企業10社の皆さんが出席しました。

大村知事からは、研究員へのお祝いと激励の挨拶  
があり、パートナー企業の皆さんからも研究員の活  
躍を期待するコメントをいただきました。また、研  
究員の代表の椙山女学園大学 佐々木菜生さんから  
は、これから始まる活動への期待感とともに、「仲間  
の力を結集して魅力ある解決策を提案します」と、  
力強い抱負が述べられました。



研究員代表 佐々木菜生さんからの抱負



「チーム・中京テレビ」の皆さん

8月中旬から本格的な活動が始まり、現地での調  
査や企業担当者とのディスカッションを通して、12  
月の成果発表を目指します。

環境政策課 企画・広報グループ  
電話 052-954-6210 (ダイヤルイン)



大村知事からの激励の挨拶

パートナー企業（50音順）	環境課題
(株)サーラコーポレーション	サーラ環境にやさしいエネルギーをPRする体験型プログラムを検討せよ
中京テレビ放送(株)	ささしまライブをSDGsで活性化！人にやさしい未来の街づくりを検討せよ
中部テレコミュニケーション(株)	持続可能な社会に貢献する新たな通信コンテンツを検討せよ
東京海上日動火災保険(株)	～Ready to Go!～ 「地球を守る保険とサービス」に挑戦せよ
東レ(株)	持続可能な自然共生社会の実現に向けた取組を検討せよ
凸版印刷(株)	凸版印刷のリソースを活用してサステイナブルな社会に貢献する「食品ロスの削減」施策を検討せよ
日本ガイシ(株)	日本ガイシと持続可能な未来を考える、子ども向け教育プログラムを検討せよ
三井不動産商業マネジメント(株)	ららぽーと名古屋みなとアクルスのSDGs発信地としての魅力・価値向上策を検討せよ
(株)メニコン	「地球に優しい」メニコンの環境ビジネスを提案せよ
吉本興業(株)	2030年を笑顔であふれる世界に！サステイナブルな地元の魅力を発信せよ

# 大気汚染防止法の改正により アスベストの飛散防止対策が強化されます



## 1 背景

アスベスト（石綿）は、極めて細かい天然鉱物繊維で、耐熱性、耐久性等に優れていることから、建材等として多く使用されてきました。一方で石綿は、吸い込んで肺の奥深くまで入り込むことで中皮腫や肺がんなどの重大な病気を引き起こすことがわかり、2006年9月以降新たな使用は禁止されています。現在は、石綿が使用されている建築物等の解体作業を行うときには、大気中に飛散させないように、大気汚染防止法等に基づいて適切な措置をとることとされています。

しかしながら、解体等工事の事前調査において石綿含有建材の見落としや、これまで規制対象でなかった石綿含有成形板等についても、不適切な除去を行えば石綿が飛散することが明らかになったことから、大気汚染防止法が改正されました（2020年6月5日公布）。

## 2 改正法の概要

- ・石綿含有成形板等を含む全ての石綿含有建材に規制対象を拡大
- ・解体等工事にあたり、石綿含有の有無に関わらず、事前調査結果の都道府県知事への報告を義務付け
- ・隔離等をせずに吹付け石綿等の除去作業を行った場合に対する罰則の強化（直接罰の創設）等（施行期日）  
公布の日から1年以内（ただし、調査結果の報告については公布の日から2年以内）

愛知県は、強化された改正法に基づき、工事現場への立入検査等を通して石綿の飛散防止に関する指導を実施していきます。

〔 水大気環境課 大気規制グループ  
電話 052-954-6215（ダイヤルイン） 〕

# 地球温暖化防止活動推進員の活動を紹介します



## 1 地球温暖化防止活動推進員とは

地球温暖化防止活動推進員は、地球温暖化対策に関して、地域における知識の普及やその促進を図るため、熱意と識見を有する者を、法律に基づき知事が委嘱する専門的人材です。愛知県では167名（2020年8月現在）が委嘱を受け、精力的に活動を行っています。



ストップ温暖化教室の様子

## 2 地球温暖化防止活動推進員の活動について

### (1) ストップ温暖化教室

県内の小学校等で実施している「ストップ温暖化教室」の講師を務め、実験やクイズなどを通して、温暖化について楽しく学ぶ機会を提供しています。昨年度は、4,648名の小学生を対象に教室を実施しました。

### (2) ブース出展

県や市町村等が主催するイベントで、県民へ温暖化防止のためにできる賢い選択を促す「あいちCOOL CHOICE」のブース出展を行っています。

ブースでは、自転車発電や缶バッジ制作などの体験を通してエネルギーの大切さについて学ぶことができるほか、省エネ家電への買換え等と呼びかけていますので、興味のある方は是非ご参加ください。出展状況などは下記までお問い合わせください。

〔 地球温暖化対策課 調整・企画グループ  
電話 052-954-6213（ダイヤルイン） 〕

## 1 「東海豪雨」を振り返る

9月は秋雨前線や台風により大雨になりやすいシーズンです。今年、「東海豪雨」から20年目の節目にあたります。

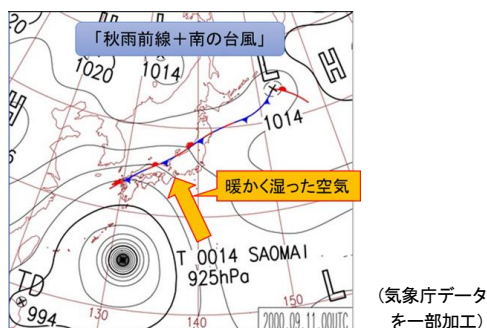
東海豪雨は、2000年9月11日から12日にかけて東海地方で発生した集中豪雨です。特に11日の夜のはじめ頃から猛烈な雨が降り、ピーク時には、傘が全く役に立たず、息苦しくなるような圧迫感、恐怖感を感じるほどの強さとなりました。

項目	名古屋市		東海市	
	観測値(ミリ)	歴代順位	観測値(ミリ)	歴代順位
日最大1時間降水量	97	1位	114	1位
日降水量	428*		492*	
最大24時間降水量	534.5		557	

\*9月1か月分(平年値)の約2倍 (気象庁のデータを基に作成)

### 東海豪雨時の降水量(名古屋市、東海市)

東海豪雨時の天気図を見ると、「秋雨前線+南の台風」が発生していることがわかります。



### 2000年9月11日(台風第14号)の天気図

大型で非常に強い台風第14号周辺の非常に暖かく湿った空気が、本州上の秋雨前線に向かって流れ込んだことで前線が活発化し、大気的不安定な状態が続きました。東海地方では、同じ地域に長時間にわたって積乱雲が発生・発達したことで、積乱雲が線状に並ぶ「線状降水帯」が発生し、集中的な大雨をもたらしました。

この大雨により、愛知県内では堤防の決壊や河川の氾濫等が発生し、約22,000棟の家屋が床上浸水するなどの甚大な被害が発生しました。

## 2 豪雨災害に備えるため(適応策)

豪雨災害は毎年各地で発生しており、今後も頻発化、激甚化すると予測されています。被害を最小限にとどめるには、気象情報のポイントを押さえ、前もって備えることが重要です。

「秋雨前線+南の台風」の組み合わせで大雨になるケースは他にも発生しており、昨年10月に発生した台風第19号においても、東北や関東を中心に記録的な大雨となりました。

これらのケースの特徴は、“台風接近前から大雨による被害が発生した”ということです。台風が離れた所があると油断しがちですが、天気図に「秋雨前線+南の台風」が現れた際には、台風接近前から大雨に備えるようにしましょう。

県では、「防災・減災お役立ちガイド(風水害編)」を公開しています。事前に「知って・学んで・備えて」防災に役立ててください。

### 防災・減災お役立ちガイド(風水害編)

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/bosai/oyakudatigaidohuusuiigaihenn.html>)



## 3 愛知県熱中症警戒アラート

東海地方の9月の気温は、平年よりも高いと予想されているため、引き続き熱中症に対する注意が必要です。

県では、9月15日までの期間、県内で「暑さ指数(WBGT)」が33℃以上となることが予測される場合に、県独自の「愛知県熱中症警戒アラート」を発令することとしています。これは、暑さへの「気づき」を呼びかけて予防行動をとっていただくための情報です。発令中はWebページに掲載されますので、是非ご活用ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/heat-illness-alert.html>)



環境調査センター 企画情報部  
(愛知県気候変動適応センター)  
電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)

愛知県と名古屋市は、生物多様性の保全と持続可能な利用に関する取組事例を県内のNPOや企業、学校などから募集し、その中から事業の趣旨、波及効果、地域性、継続性等の9つの観点から総合的に評価し、特に優れた取組20件を「ベストプラクティス」として選定しました。今月号から6回に分けて、選定事例を紹介していきます。

【募集期間】2019年12月18日～2020年4月16日

【応募総数】160件

今回は、NPOの取組を紹介します。

### NPO 法人表浜ネットワーク

アカウミガメの産卵地として重要な表浜海岸で、アカウミガメ産卵調査を継続して行っています。また、産卵の出来る砂浜を守るため、海岸に自生するメダケを使った堆砂垣と呼ぶフェンスを、砂浜に設置しています。季節風で飛ばされる砂を堆砂垣で受け止めることにより、赤羽根海岸などでは砂浜が再生しました。また、小中学生や一般市民を対象に、出前授業を含むアカウミガメや漂着物に関する環境講座を、地元の各学校や表浜海岸で行っています。



堆砂垣づくり

### 環境ボランティアサークル亀の子隊

地元の小学生たちが渥美半島にある西の浜のごみの多さに驚き、ごみ拾い集めを開始したのがきっかけとなり、1999年に当会を設立しました。

会のメンバーに加えて企業の従業員も参加し、毎月1回のペースで西の浜クリーンアップ活動を行っています。また、海の環境を学ぶ会として、スナメリ観察、磯遊び、スノーケリング、海水からの塩づくり、干潟観察など、毎回テーマを決めて学習活動を行っています。



海の環境を学ぶ会

### 島を美しくつくる会

「アマモが少なくなっている」という漁師の言葉を聞いた一人の中学生から活動が芽生え、2004年から当会が応援を始めました。多くの生きものを育むアマモの群落を増やすため、佐久島に残された天然のアマモ場から浅瀬に株を移植してアマモ場の拡大を図る活動を毎年6月頃に行っており、島外のボランティアも参加しています。また、島の中学生が中心となり、鉄の枠に麻のマットを挟んだ植栽マットを活用して実生移植活動を行っています。



地元中学生の活動発表

〔 自然環境課 生物多様性保全グループ  
電話 052-954-6475 (ダイヤルイン) 〕

愛知県環境情報紙「環境かわら版」  
令和2年9月7日発行(第292号)  
編集・発行 愛知県環境調査センター  
企画情報部  
〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6  
電話 052-908-5112(ダイヤルイン)

### 編集後記

今年も台風シーズンがやってきました。近年はスーパー台風とよばれる巨大な台風が襲来し、日本各地で堤防の決壊や河川の氾濫等が発生し、甚大な被害をもたらしています。

台風や大雨による被害がないことを切に願うばかりですが、被害を未然に防ぎ、命を守るため、ハザードマップを確認したり、非常用品を備蓄するなど、災害への備えを今一度確認しましょう。(企画・編集チーム)

※ この環境かわら版は、環境局Webページ「あいちの環境」<https://www.pref.aichi.jp/kankyo/>でも発信しており、今月号及びバックナンバーをカラーでご覧いただけます。ページは右のQRコードからアクセスできます。

※ QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

掲載記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。

